

さて今月は、会員増強・新クラブ結成促進月間となっています。

私たちのクラブも、急速とはいええないものの、少しずつ増強の動きが出てきて来ます。清水増強委員長からも頻繁にお話がありますが、体験例会への参加者を是非ご紹介頂きますようお願いいたします。若い経営者はもちろん良い経営者仲間を、そしてベテランの会員さんでしたら、お子さん世代の経営者の皆さまを、是非お連れください。

皆さまご記憶の通り、私の時代は、まだ「とりあえずお昼食べに来て」と言われてそのまま入会させられるスタイルが主流でした。今幹事を務めて頂いている甚田さんが会長の時代です。

もちろん、今となってはそれも全く良い方法だと思います。というのも、物事には「理屈を説明するよりまず体験させる」というアプローチが適しているものもあるからです。

実際、私は私のお客様に「本業に影響するのでロータリークラブやライオンズクラブには入らないでください！」とずっと申し上げてきた手前、理屈で説明されても絶対に入会しなかったと思います。

それでは、これからの世代の方にはどのように入会をおススメすれば良いのでしょうか。

これについては、やはり「奉仕活動を表に出した勧誘」を、迷わずお勧めします。

私はいわゆるバブル世代にかかる人間で、その前後の経営者両方と仕事を多くしてきましたが、今の若い経営者、特に活躍している方たちは「自分たちが得た利益の社会還元」という考え方を強く持っている方が多いと感じます。

もっと砕けた言い方をすると「何か社会のために貢献すべき」という、いわゆるCSR活動の必要性を感じておられるのです。これは、日本だけでなく世界中が、そのような姿勢でなければ発展を続けていくことができない、という時代の要請に基づくものだと思います。

ここで重要になるのが、では勧誘しているわがクラブがどんな活動を行っているか、という情報です。

この活動、特に海外での活動は、日本国内での活動と違って個人や中小企業が簡単に手掛けることができないものです。このような活動は、やはり我々ロータリーのように国際的な大規模組織を持つからできることで、ここに自分が関わることができる、というメリットは、若い経営者にとっては何物にも代えがたい価値を持つと思います。

皆様ご存知のように、私たちのクラブは海外で2つの活動を行っています。

澤田さんが長年続けておられる、フィリピンやバヌアツ共和国での歯科医療奉仕活動、また今年で恐らく8回目となるバリ島の子供たちへの支援活動です。

まず澤田さんは、先日バヌアツ共和国のペンテコスト島での歯科医療奉仕を終えて無事帰国されました。

本日そのご報告があると思いますので、楽しみにしております。

この活動は本当に素晴らしいものです。口腔衛生は健康寿命に大きく影響しますから、このように地道な活動は長年にわたってその地域の活力を高め、歴史に残るほどの大きな改善効果を起こします。

正直、澤田先生を見ていると申し訳ない限りですが、場所や期間、その専門性もあって私はまだこの活動に同行できていないのですが、なんとか一度くらい参加したいとも思っています。

次に、10月に予定されているバリ島支援活動について、お話します。

この活動は、私が幹事を務めさせていただいた2013年幹事の時から始まり、今回予定されている活動で8回目となります。皆様ご存知の通り、バリ島のタマンロータリークラブと提携し、最初は学費が足りず進級が難しい子供への支援からスタートしました。現在は、学校への手洗いやトイレなど、衛生設備の寄付が主流となっています。

バリ島という地の利もあり、活動以外の時間はリゾートを満喫できるという点もこの活動の特徴です。

参加者が非常に多かった回は、現地で観光や、即席の戦略委員会を開催したりとなかなかの盛況でした。

今回、私たちはこの活動を澤田さんの活動とともに「増強の要」と考え、強化することにしました。

以前増強委員長を務めて頂き、またバリ島の活動開始に大きな力を与えてくださった岡本さんを、この後の理事会で「特命委員長」に推薦し、今回の活動を支えてもらう予定です。

ただ、正直言いますと、岡本さんは「岡本さんのバリ島支援活動」と呼ばれることに懸念を持っておられます。岡本さんがなんでもやってくれるだろう、岡本さんが行けば大丈夫じゃないの？という、はっきり言って現在の澤田さんの活動にベテランの皆さんが持っておられる見方と同じになることを、個人としてではなく我々のクラブの問題として懸念されているのです。

これを払しょくするためには、できるだけたくさんの方に今回参加頂き、タマンロータリーとも交流し、そして良い支援活動を実現、これを増強やクラブの将来におおきく貢献する活動とする必要があります。

この趣旨を何卒理解頂き、多くの方の参加、ご支援をお願いいたします。

単なるリゾートへの旅行と思って頂いても正直構いません。

そうやって参加頂き、クラブの活動に共感、協力頂けること、そして現地で親睦を深めることが、何よりロータリーの精神に合った活動となりうると思います。

旅程については、次の予定が決まっています。是非手帳に記録下さい。

まず10月12日土曜日の朝出発、観光も交え、支援先の学校訪問、タマンロータリーとの交流、例会出席などが実施されます。そして、10月15日火曜日終日活動のあと、深夜便で16日水曜日朝関空着という予定です。

今年の目標は、10人越えとしております。早く動きたいので、来週例会迄に参加の表明をお願いいたします。

以上、会長の時間を終わります。

4. 米山奨学金授与



塩尻会長より、米山奨学生ゴーチュンタン君に奨学金が授与されました。

5. 委員会卓話

◎ 親睦委員会 山川 良知 委員長

夏の家族懇親会が8月24日(土)と近づいて来ました。まだ人数に余裕がありますので、お申込みが未だの方は是非よろしく願います。また、心斎橋 RC との合同ゴルフコンペを10月23日(水)に開催いたします。奮ってご参加ください。

◎ 青少年奉仕委員会 片岡 清夫 委員長

今年11月2日(土)～4日(月祝)の2泊3日の日程で「サントリー箕面トレーニングセンター」において秋のライラセミナーが開催されます。目的は青少年の指導者を育成するためのプログラムです。以前当クラブがホストを務めたこともあり、また私の会社の社員の方にも参加していただきました。ためになるセミナーですから多くの方のご参加をお願いします。詳しい内容は、本日メールボックスに資料をお入れしていますので参考にして下さい。

◎ クラブ戦略計画委員会 中村 一 委員長

8月28日(水)18:15から、塩尻会長・甚田幹事のご出席を賜りまして委員会を開催致します。当委員会の委員には近日中にメールにてご案内をお送り致しますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、御出席頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

6. ニコニコ報告 山川 良知 親睦委員長

澤田 会員・・・本日の卓話はバヌアツでの歯科医療奉仕活動の帰国報告です。宜しくお願い致します。

甚田 会員・・・2週連続欠席のお詫び。

松谷 会員・・・金土日と2泊3日天風会の修練会を行って来ました。よって全くの元気印。

新川、俣野、清水、山川、小山、岡野、井澤、栗原、沖、大嶋、中村、岡本(茂)、片岡、宮原、松永、吉本、岡本(真)、北野、伊藤、

各会員・・・渋野日向子 全英女子オープンの優勝おめでとうございます！

伊藤、林、両会員・・・8月お誕生月

中村、岡野、澤田、各会員・・・8月創立記念日

7. 出席報告 藤井 宏明 副SAA

会員総数 34名 出席率計算会員数 33名 出席会員数 27名 出席率 82%

第1371回(7月22日) 修正出席率 94%

8. バヌアツ帰国報告 国際奉仕委員会 澤田 宗久 委員



7月10日から19日までバヌアツ共和国ペンテコスト島で歯科医療奉仕活動に行きまして参りました。

今回の参加者は、ドクター4名、衛生士2名、歯科技工士1名、ボランティア1名、現地ポートヴィラのセントラルホスピタルからドクター1名、衛生士1名と宮崎放送メディアのディレクターが取材の為同行し合計11名で活動を行いました。

ペンテコスト島は電気が無いので首都のポートヴィラで自動発電機を購入して前もって船便で送っていたので、すぐに活用することが出来ました。ペンテコスト島に行く前にバヌアツ政府保健省とミーティングを行います。お互いに活動の内容を確認し話し合いをして活動を行っています。

今回ペンテコスト島のパンギ村に行ったら教会の裏側に立派な診療所が建設されていました。又、宿舎も完成されていて自炊も出来て活動がスムーズに進みました。

診療は、抜歯、充填、歯石除去、ブラッシング指導、入れ歯の作製を行いました。現地では、前もってアナウンスされていたので患者さんが沢山来て頂き毎日楽しく活動ができました。

学校健診は、昨年と同様にイギリス系のパンギ小学校とフランス系のラングスク小学校の2校を回り健診を行った後に歯ブラシ、タオル、クレヨン、画用紙、文房具のドネーションを行いました。日本から持って行った八尾市立竹淵小学校の5年、6年生が書いた絵をドネーションしました。その後、我々が帰国する際に2校の生徒達が書いた絵を頂きました。2学期の出前授業の時に八尾市立竹淵小学校にお渡しします。

今回は、メディアが同行して取材を受けましたので放映が決まったら皆様にご報告いたします。

パンギから首都のポートヴィラに戻ってからすぐにバヌアツ政府の保健省に行きディレクターとお会いしてMOUの調印を行うことができました。

バヌアツ政府とJDMとの合意事項の覚書を交わしたことから次年度からパンギ村でも単なるボランティア団体ではなくバヌアツ政府から要請された団体として活動がスムーズに行えるようになります。国際奉仕は継続することが重要であります。

今後共、皆様方の御理解と御支援宜しくお願い致します。

「ウィリアム・メレル・ヴォーリズについて」

小島 常男 会員

ウィリアム・メレル・ヴォーリズ (William Merrell Vories, [1880年10月28日](#)-[1964年5月7日](#)) は、[アメリカ合衆国](#)に生まれ[日本](#)で数多くの西洋建築を手懸けた[建築家](#)、社会事業家、信徒伝道者。建築家でありながら、ヴォーリズ[合名会社](#) (のちの[近江兄弟社](#)) の創立者の一人として[メンソレータム](#) (現メンターム) を広く日本に普及させた実業家でもある。

[讃美歌](#)や同志社カレッジソングなどの作詞作曲を手がけ、[ハモンドオルガン](#)を日本に紹介するなど、[音楽](#)についての造詣も深かった。

(以上ウィキペディアからの引用です)

関西学院大学や神戸女学院大学、同志社大学のアーモスト館などもヴォーリズ建築であることはよく知られています。

昭和8年に完成したアールデコ調の旧大丸心齋橋店もウィリアム・メレル・ヴォーリズ的设计によるもので、9月20日に建て替えが完成し大丸心齋橋店新本館がオープンします。 御堂筋側ファースードと1階エスカレーター周辺の装飾はお客様からの熱心なお声もあり、保存されています。

出来上がりましたら是非ご覧ください。

新本館が出来上がるにつれ、楽しみとともに身の引き締まる思いの今日この頃です。



IM 第5組 木越 正司 [大阪西RC]

(きごし しょうじ)



| | |
|--------|----------------------|
| 生年月日 | 1946年8月8日(72歳) |
| 職 業 | 株式会社相建エンジニアリング 代表取締役 |
| ロータリー歴 | 2001年 入会 |

| | | | |
|----------|-----------|----------|-----------|
| 2005～06年 | 幹事 | 2012～13年 | 地区職業奉仕委員長 |
| 2010～11年 | 職業奉仕委員長 | 2013～14年 | 副会長 |
| 2011～12年 | 国際奉仕委員長 | 2015～16年 | 会長 |
| 2012～13年 | 災害復興特別委員長 | 2015～18年 | 地区研修委員 |

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、米山功労者(マルチプル)

IMの再編が行われて2年目IM5組12クラブのガバナー補佐を担当させていただきます。ガバナー補佐はクラブと地区とのパイプ役のみならず、いかに各クラブにおけるニーズに答えられるかが問われていると考えます。また、今年度はロータリーデー、フレッシュロータリアンの交流、会長・幹事会を通じ青少年を中心とした奉仕活動を中心にクラブ間の連携を図っていきたいと思います。

四宮ガバナーの地区方針を基本に新たな風を各クラブに吹き込みたいと考えていますので、皆様の絶大なご協力をお願い申し上げます。

・・・ ガバナー月信7月号より ・・・

8月度理事会報告

2019年8月5日(月)於:ホテル日航大阪 13:40～14:40

(議 案)

1. 7月度会計報告:承認
2. RI 人頭分担金支出について:承認
3. RYRA3名登録について:承認
4. パリ島奉支援について:岡本(真)特命委員長任命 訪問準備開始 承認
5. 女性会員増強について:9月増強委員会開催予定
入会候補者チェックシート(案) 検討
6. 米山奨学普通寄付(前期)支出について:承認
7. 9/22-23 米山秋研修会 ゴーチュンダン君参加について:承認
8. 「船場まつり2019」協賛金支出について:承認

☆次回8月26日(月)例会予定

・会員増強バズセッション

※例会場は4階「孔雀の間」に変更になっております。

